

～あなたはどんな香りがしますか～

一年の抱負ができてどのように歩むか決まっただけでしょうか。LDL、HDL（悪玉、善玉コレステロール）これに関わっているのが脂肪酸です。これまでは不飽和脂肪酸のほうが安定もしていてよいとされ、たくさんの化学合成されたもの（油ど）が作られてきましたが、合成しきれないものがどうしても体に残ってしまうということがわかってきました。そして最近の研究では、自然なもの（牛肉や豚肉など）にはコレステロールを上げるものもあるが下げるものも含まれていて、よいのではということも言われるようになってきました。このように神様が作ったものはバランスがとれているのです。どれがよいということではなくいつもバランスがとれていないといけません。そして私たちの生活に混ぜ物をせず、ナチュラルなものをナチュラルに考えていかなければいけません。（マルコ4：23～25）（Ⅱコリ2：15～17）「混ぜ物」あなたは自らの内側は混ぜ物がない良い状況で進んでいますか。昔は日本の文化、価値観をそれぞれに持っていましたが、現代はそれぞれの香り（色）がなくなっています。あなたから出る芳しい香りがなくなっています。犬はおしりのにおいを嗅ぐことで相手の性格や強さなどを判断します。あなたは自分がどんな香りかわかっていますか。普段あなたは自分をどのように診断しているのでしょうか。自己診断は危険です。自分ではよいと思って相手には悪影響を及ぼしていることも多々あるのです。あなたがとっている行動、態度、これがどの部分から出てるかが大きな違いです。与え続ける愛にもとづく判断をしなくてはいけません。そのために御言葉が必要です。あなたがやっていることが正しいか正しくないかを考えなくてはいけません。世界で一番古い書物が聖書です。土台にしているものを通してしっかり学ばなくてはならないし、その土台が何を言っているのかわからないと意味がありません。自己判断や自分の価値観に基づいて混ぜ物をしていただけではよいことになりません。私達は人生においてもこのようなミスを犯しやすいのです。目に入ってきた情報を「こうだ」と決め付けてしまう、これはよいことではありません。聖書では「聞く耳のある者は聞きなさい。」とありますが、「聞くことに注意しなさい」とも言っています。どう注意するのかそれが御言葉によって判断しなさいということです。目に見る様子、夢、人の言葉など、あなたがどのような知恵を用いて判断しているかが肝心です。知恵はあなたが持てるものではありません。これは将来にあなたに起こりうることを判断する能力なので、これまでの知識に基づいてやるのであれば過去を乗り越えることはできません。これでは「これまで失敗したからしない」「成功したからする」これしかできないからです。だからこそ聖書から知恵を学ぶことが必要なのです。聖書では知識(logos)を昔に与え神の知恵(レイマ)がそのlogosを通して私たちに与えられると言っています。だからその2つが一緒にならないとあなたの知恵は生まれません。誰から聞いたこともあなたの知恵にはなりません。（ローマ7：4～25）あなたが肉の価値観で判断している以上、したいことは一生できません。だから霊の部分で正しい価値観を身につけ肉体が欲を出しても霊の部分で判断能力をきちんともてとということなのです。御言葉に基づき御言葉によって正しい診断していくために①周りをおそれない 周りから入ってくる情報で「こういう状況になるのではないか」とあなたの肉体に伝わります。しかし周りを恐れ焦っているとろくなことをしません。祈って「大丈夫」と言われれば大丈夫なのです。恐れない状況を自分で作ればよいのです。冷静に判断することが大切です。（マタイ27：21～24）ピラトは総督でありながら国民が暴動を起こすことを恐れていました。周りを恐れて判断するとこのようになります。現実を見れば情報が入ってきますが、これをいかに制することができるかが肉と霊の分離です。「聖書はこういっている、だから大丈夫」こう判断できるかどうか大きな違いです。②御言葉に混ぜない。自己判断をしないということです。書いた人がわからないのに御言葉を見ることはできません。書かれた意味、つまり愛の前提がわからなければただの哲学です。しっかりとした判断をもって物事をとらえていかなければいけません。書かれた意図、背景をしっかり学ぶ必要があります。（Ⅱコリ）その上で③量りを御言葉。恐れていた、混ぜ物をしたり段階の御言葉では正しい判断はできません。大きな決断をする時にこれまでの経験でやるのか知恵でやるのかで変わってきます。これまで世の中を動かしてきた人たちの中に自分の経験で判断してきた人はいません。聖書を土台にいきましょう。（マルコ4：24～27）憎しみの重さ、信頼の重さ、尊敬の重さなど、色々な重さの何を受けるかです。あなたが人を尊敬できずに裁いているなら、あなたも裁かれる重さを持つことになってしまいます。しかしあなたの根底が正しければ、人々もあなたに正しく接してくれます。あなたの内側だけでも正しい判断をもつ能力を持ってください。あなたが何の量りをもって量るかを決めてください。どのような方法で相手を見るか、愛するということを前提にすることが大切です。相手を憎しみのばかりで相手を裁けばあなたも相手も裁かれ続けますが、愛を持って戒めるのであれば相手も愛によってあなたに接してくれるはず。求めてくるものには神様は愛を与えてくださいます。神様に求めて御言葉を願ってください。そうすれば自らがどうしたらよいかわかるはず。これまではどうやって実をならすかがんばってきました。これからは実をどれだけ生かすかを考えていきましょう。「あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり」（ヨハネ15：16）あなたを実をならすために作ったのではなく、その実が残るために作ったのです。だからあなたもグッセマナをしなくてはいけません。あなたに蓄積された過去があなたを恐れさせます。だからこそ、それを搾り出して神様に祈った上で、新しい知恵の御言葉をもって行動してください。今年は愛と御言葉の年です。たくさんものを収穫し、実を残していきましょう。（要約者：岩崎祥誉）